

ねりまの文化財

東京文化財ウィーク2015

11月1日から11月7日までの一週間は「文化財保護強調週間」です。この期間中は、全国で文化財保護と活用の推進を図るため、各種事業が行われます。

東京都では、より多くの皆様に文化財を身近に感じていただくために、強調週間の前後を「東京文化財ウィーク」として都内にある文化財の公開事業と企画事業を実施します。文化財の公開については、通年公開と、ウィーク期間中の特別公開とがあります。区では、企画事業として文化財の解説会を行います。

ガイド冊子「東京文化財ウィーク」特別公開・企画事業編、通年公開編、9月下旬に伝統文化係(区役所本庁舎11階)・石神井公園ふるさと文化館等で配布する予定です。

企画事業 江古田の富士塚 下練馬の富士塚 解説会

練馬区には、江戸時代後期頃から、

富士山を信仰する富士講が地域の人たちによって結成され、富士山を模した富士塚が造られました。富士山に行くことができない人でも富士塚に参詣することで、富士山に登山したのと同じ霊験が得られると信じられていました。企画事業として、国指定重要有形民俗文化財・区登録有形民俗文化財「江古田の富士塚」と区指定有形民俗文化財「下練馬の富士塚」の解説会を実施します。

■「江古田の富士塚」解説会

【日時】10月28日(水)
10時、11時、13時、14時

練馬区
地域文化部
文化・生涯学習課
(伝統文化係)
〒176-8501
練馬区豊玉北6-12-1
TEL 03(5984)2442

(各回・解説会「約15分」↓見学)

【場所】江古田の富士塚

(小竹町1-19 浅間神社、
西武池袋線 江古田駅北口を
出ですぐ)

【定員】各回20名(先着順)

【応募方法】10月1日から電話受付

■「下練馬の富士塚」解説会

【日時】11月4日(水)
10時、11時、13時、14時

(各回・解説会「約15分」↓見学)

【場所】下練馬の富士塚

(北町2-41 浅間神社、
東武東上線 東武練馬駅南
口を出て徒歩4分)



下練馬の富士塚



江古田の富士塚

【応募方法】申込不要・現地集合

【申込・問合せ】伝統文化係

詳細は、ねりま区報10月1日号をご覧ください。

東京文化財ウィーク2015 企画事業
石神井公園ふるさと文化館 分室主催

●特別展「蟬類博物館―昆虫黄金期を築いた天才・加藤正世博士の世界―」

(東京大学総合研究博物館との共催展)
大正～昭和初期の昆虫黄金期を支えた昆虫学者、加藤正世(一八九八～一九六七)。石神井の自宅に「蟬類博物館」を開設し、趣味の昆虫採集を通じた普及活動にも力を注ぎました。加藤博士の死後、昆虫標本・資料等のコレクションはご遺族により大切に保管されてきましたが、近年、東京大学総合研究博物館に寄贈されました。

本展では、蟬類博物館にかつて陳列されていた昆虫標本・資料などを紹介します。

【期間】10月1日(木)～11月29日(日)



セミ科の体制図 東京大学総合研究博物館蔵

●分室特別展「書家・松井如流―ゆるぎない信念とともに―」

練馬区関町北に住んでいた書家・松井如流(一九〇〇～一九八八)は、現代に息づく新たな書の表現を求め、日々、創作活動をしてきました。

本展では松井の書作品および短歌を紹介し、新たな「心技一致」の書を模索し続けた、松井の歩んだ道のりを紹介します。



丹愚 1987年 秋田県立近代美術館蔵

【期間】10月3日(土)～12月23日(水・祝)

【場所】石神井公園ふるさと文化館 分室

【観覧料】無料

●東京9区文化財古民家めぐり連携事業

①講演会「練馬の古民家を知る―「旧内田家住宅」古民家移築復元のお話―」

あわせて旧内田家住宅(区指定有形文化財)の見学も行います。

【日時】10月25日(日)

①午後1時20分～3時

(建物見学・講演会)

②午後2時～3時40分

(講演会・建物見学)

【場所】石神井公園ふるさと文化館・旧内田家住宅

【講師】道家祥平氏(株式会社マヌ都市建築研究所主任研究員)

【定員】60名(往復葉書で事前申込)

②古民家現地解説会「江戸期の古民家と明治期の古民家」

江戸期建築の旧篠崎家住宅(杉並区大宮1-20・杉並区指定有形文化財)と、明治期建築で当館隣接の旧内田家住宅を現地見学して比較します。

【日時】11月15日(日)午前10時～午後3時

【場所】旧篠崎家住宅・旧内田家住宅

【講師】山口隆太郎氏(北区飛鳥山博物館学芸員)

【定員】10名(往復葉書で事前申込)

②の詳細は、ねりま区報10月1日号をご覧ください。

●石神井城跡発掘パネル展

石神井城跡(中世豊島氏の城跡)の発掘調査の様子や成果などを特別公開中の主郭内にて写真パネルで紹介いたします。

【期間】10月31日(土)～11月8日(日)

午前9時30分～午後4時30分

【場所】都立石神井公園内石神井城跡(石神井台1丁目)

●特別公開「小野蘭山墓誌」

江戸時代中期の本草学者(博物学者)である小野蘭山(一七二九～一八一〇)の墓誌(都指定有形文化財)を特別公開します。

【期間】10月17日(土)～11月5日(木)

【場所】石神井公園ふるさと文化館 常設展示室(入館料無料)

●講演会「農業による地域振興・人材育成と地域の交流―多摩川源流大学プロジェクトの実例―」

多摩川源流大学プロジェクトの実例から練馬の農業の可能性を探ります。

【日時】11月8日(日)午後2時～4時

【場所】石神井公園ふるさと文化館

【講師】杉野卓也氏(東京農業大学学術研究員)

【定員】100名(10月11日から電話申込・先着順)

【申込・問合せ】

石神井公園ふるさと文化館

住所 練馬区石神井町5-12-16

電話 03(3996)4060

石神井公園ふるさと文化館分室

住所 練馬区石神井台1-33-44

電話 03(5372)2572

休館日 月曜日(月曜日が祝休日の場合はその翌平日)

開館時間 午前9時～午後6時

詳細はふるさと文化館ホームページ

(<http://www.neribun.or.jp/furusato.html>)をご覧ください。

東京文化財ウィーク2015 企画事業
都指定史跡 尾崎遺跡出土品解説会

尾崎遺跡は、春日小学校建設に先立ち、昭和54年から翌年にかけて発掘調査が行われました。台地と低地に広がる、旧石器時代から江戸時代の遺跡であることがわかりました。特に、旧石器時代の植物遺体や、平安時代の火起こしの道具など珍しい遺物が出土しました。

現在、台地部の集落跡は埋戻しを行い、保存しています。この範囲が昭和58年に都の史跡として指定されました。尾崎遺跡出土品は平成4年度に区の文化財に指定しています。

《解説会》

【日時】 11月1日(日)

午前10時・午後2時(各回1時間程)

【応募方法】 申込不要・直接現地へ

【場所】 春日小学校内資料展示室

(春日町5-12)

※正面玄関は、学校南側です。

【交通】 練馬春日町駅

(都営大江戸線下車徒歩8分)

豊島園駅

(西武豊島線下車徒歩15分)

【問合せ】 伝統文化係



縄文時代早期の土器
約9,000年前



この地図の著作権は練馬区が有しています。

第3回ねりま手工芸公募展

練馬区内在住・在勤(在学)で16歳以上のアマチュアの方を対象に募集した手工芸作品約70点を展示します。

◆日時 9月8日(火)～13日(日)

◆場所 石神井公園ふるさと文化館

2階企画展示室

◆観覧料 無料

◆主催 ねりま手工芸公募展実行委員会

◆問合せ 伝統文化係



第2回 練馬区長賞
椿(夢小町)

第27回練馬区伝統工芸展

今年も、区内で継承されている匠の技の数々が練馬駅隣接のココネリで開催されます。

◆日時 10月12日(月・祝)～14日(水)

※開催時間は、ねりま区報

10月1日号をご覧ください。

◆会場 練馬区立区民・産業プラザ

「Coconeri」(ココネリ)3F

「Coconeri」ホール/産業イベントコーナー

◆出展種目 江戸刺繍/江戸木彫刻/

江戸筆/江戸表具/籐工芸/

尺八/手織/東京額縁/東京

染小紋/東京彫金/東京手描

友禅/組紐/螺鈿時絵/和裁

展示・実演・販売・体験ほか

◆主催 練馬区伝統工芸会

◆後援 練馬区・練馬区教育委員会・

練馬区産業振興公社・練馬区

観光協会



伝統工芸 江戸木彫刻

文化財保護審議会

委員委嘱(第15期)

練馬区では、区内文化財の保護・保存および活用を図るため、練馬区文化財保護条例に基づき、学識経験者で構成する練馬区文化財保護審議会を設置しています。

主な役割は、①教育委員会の諮問に応じる ②文化財の保存等について重要事項を調査し、審議する ③重要事項について教育委員会に提言するの三点です。この度、平成27年4月1日付けで、左記7名の方に、練馬区文化財保護審議会委員を委嘱しました。任期は2年です。

◆委員一覧(敬称略・五十音順)◆

伊郷 吉信 文化学園大学造形学部・

日本大学生産工学部講師

(建築)

漆澤その子 武蔵大学人文学部教授

(日本芸能史・文化史)

佐藤 孝之 東京大学史料編纂所教授

(日本近世史)

柴辻 俊六 元日本大学大学院講師

(日本中世史・古文書学)

副島 弘道 大正大学文学部教授

(日本彫刻史・文化財学)

松崎 憲三 成城大学文芸学部教授

(日本民俗学・民具学)

森 公章 東洋大学文学部教授

(日本古代史)

公開している国指定・登録、都指定の文化財

区内には国指定・登録、都指定の文化財があることをご存知でしょうか。ここでは、そのなかで普段見ることのできる文化財を紹介いたします。

練馬白山神社の大ケヤキ

(国指定天然記念物)

白山神社の2株のケヤキは、いずれも樹齢約900年と推定される全国でも有数の巨木です。永保3年(一〇八三)、源義家が「後三年の役」で東北地方に向かう際に戦勝を祈願して苗木を奉納したと伝えられています。

【所在】練馬4-2 白山神社境内

【交通】豊島園駅(西武豊島線・都営大江戸線)下車 徒歩5分



三宝寺池沼沢植物群落

(国指定天然記念物)

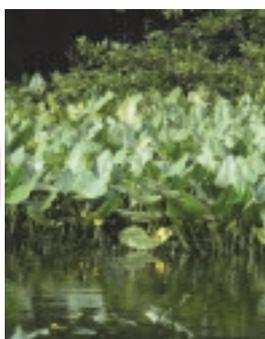
三宝寺池の中央にある「中の島(浮島)」周辺を範囲として指定されています。

す。コウホネ、ミツガシワ、ハンゲシヨウ、カキツバタなどの水生植物を中心に貴重な植物相がみられます。

【所在】石神井台1-27ほか

都立石神井公園内

【交通】石神井公園駅(西武池袋線)下車 徒歩15分



コウホネ

牧野記念庭園

(国登録記念物)

世界的に著名な植物学者である牧野富太郎(一八六二〜一九五七)が、大正15年(一九二六)から逝去するまで30年余り居住した住宅と庭の跡です。

【所在】東大泉6-34

【交通】大泉学園駅(西武池袋線)下車 徒歩5分

【開園時間】午前9時〜午後5時

※火曜日休園

【問合せ】牧野記念庭園

03(3922)2920

石神井城跡

(都指定史跡)

石神井川の水源の一つである三宝寺池の南側台地に石神井城跡があります。南北朝・室町時代に石神井川流域を支配した豊島氏の拠点でした。文化財ウイーク期間中は、城跡の主郭内が特別公開されます。(2頁参照)

【交通】石神井公園サービスセンター

03(3996)3950

【所在・交通】

小野蘭山墓及び墓誌

(都指定有形文化財)

池永道雲墓

(都指定旧跡)

小野蘭山(一二二九〜一八一〇)は江戸時代中期の本草学者(博物学者)、池永道雲(一六七四〜一七三七)は書家・篆刻家です。両墓ともに大正12年(一九二三)の関東大震災の罹災により、昭和の初めに浅草から現在地に移転しました。小野蘭山の墓誌は、現在石神井公園ふるさと文化館で保管しており、文化財ウイーク期間中に同館で展示します。(2頁参照)

【墓の所在地】練馬4-27

【交通】豊島園駅 下車 徒歩5分

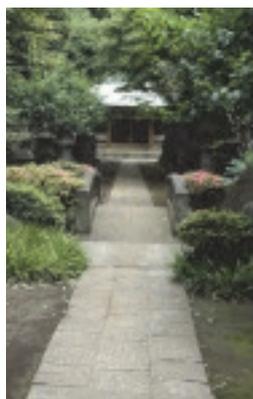
東高野山奥之院

(都指定史跡)

長命寺の境内西部にある霊場域です。長命寺は江戸時代に紀州高野山の霊場を模して整備されたので「東高野山」と呼ばれます。奥之院への参道には石塔や石仏等が多く建ち並んでいます。

【所在】高野台3-10 長命寺境内

【交通】練馬高野台駅(西武池袋線)下車 徒歩5分



丸山東遺跡方形周溝墓

(都指定有形文化財)

大泉町三、四丁目に所在した丸山東遺跡の方形周溝墓4号を中心に出土した弥生土器12点・ガラス玉71点・管玉5点・鉄剣1口です。武蔵野台地における弥生時代後期の方形周溝墓一括出土品として秀逸です。

【所在】石神井公園ふるさと文化館

